



2023 年度北海道大学大学院理学研究院  
附属地震火山研究観測センター公開講座

# 北海道の 地震と防災

地震・津波・防災の  
最新を学ぶ  
2日間。

参加無料

事前予約制

定員約 50 名

12.2

土

12.9

土

10:30~16:15 (10:00 開場)

会場：北海道大学理学部

3号館 309 講義室

主催：北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター



ご挨拶

北海道は、豊かな大地の恵みがある一方で、これまでに多くの地震災害を経験している地域です。2018年には、北海道胆振東部地震が発生し、斜面崩壊で大きな人的被害が出ました。また、ブラックアウトは北海道全域で社会生活や経済活動に大きな影響を与えました。このような地震災害の教訓を、今後発生が懸念されている千島海溝の巨大地震や内陸地震への備えに生かすことが重要です。理学研究院附属地震火山研究観測センターでは、2011年度より、地震に関する基礎科学から実学までの多方面にわたる内容を含んだ公開講座を開催しております。2023年度の公開講座「北海道の地震と防災」では、2日間5講座にわたって、地域防災につながる講義を行います。地震や津波に関する基礎知識、地震・津波に対する防災対策、災害に関する情報の活用、災害発生後の対応など、「地震・津波災害への備え」を総合的に取り上げます。

北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター長  
青山 裕

## ●概要

### ■第1講／巨大津波に備える 西村裕一

北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター 海底地震津波研究分野／准教授

北海道太平洋沿岸では津波堆積物の存在により、過去に巨大地震が発生していたことが明らかになっています。各地域での津波堆積物の情報は、その場所での大津波に対する備えを考える上で重要な指標を提供します。津波堆積物とは何か詳しく解説します。

### ■第2講／歴史資料から巨大地震災害をどう学び、どう残すか 室谷智子

国立科学博物館理工学研究部理化学グループ／研究主幹

日本の学問としての「地震学」の歴史は150年にも満たないですが、この間、多くの地震災害に見舞われてきました。残った資料から何が分かり、どのように防災・減災に役立つのでしょうか。また、これらの資料を未来へどうつなげるか、今年発生から100年を迎えた関東大震災をメインにお話します。

### ■第3講／北海道周辺に発生する地震 高橋浩晃

北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター 地震観測研究分野／教授

北海道周辺では過去に何度も大地震が発生し大きな被害を受けてきました。講義では、地震発生が予想されている地震について学ぶことで、自分が住んでいる地域での防災を考える糸口となることを目指します。

### ■第4講／地震津波情報の利活用 阿南恒明

気象庁札幌管区气象台気象防災部／地震情報官

地震が発生した時、気象庁からは緊急地震速報、震度速報、津波警報などの情報が次々に発表されます。身を守るためにあらかじめ知っておくことが大切な、それぞれの情報の意味や身につけていただきたい防災の知識について解説します。

### ■第5講／地震防災対策 中嶋唯貴

北海道大学大学院工学研究院建築都市空間デザイン部門／准教授

我々の住む北海道において多くの町で人口が減少していくなか、まちの維持のためにコンパクト化が各地で計画されています。将来のまちの変化と災害の関係はどうなっているのでしょうか。本講義では、過疎化や高齢化による将来のまちの変化が地震・津波被害にどのような変化を与えるのか学ぶとともに、その被害を防ぐために必要な防災対策について学びます。

## ●「北海道の地震と防災」講座スケジュール

12 / 2  
(土)

	10:00	受付開始	
●開講式	10:25 ↓ 10:30	あいさつ・ガイダンス	北海道大学大学院理学研究院 附属地震火山研究観測センター 特任教授 谷岡勇市郎
第1講	10:30 ↓ 12:00	巨大津波に備える	北海道大学大学院理学研究院 附属地震火山研究観測センター 准教授 西村裕一
第2講	13:00 ↓ 14:30	歴史資料から巨大地震災害を どう学び、どう残すか	国立科学博物館理工学研究部 研究主幹 室谷智子
第3講	14:45 ↓ 16:15	北海道周辺に発生する地震	北海道大学大学院理学研究院 附属地震火山研究観測センター 教授 高橋浩晃

12 / 9  
(土)

	10:00	受付開始	
第4講	10:30 ↓ 12:00	地震防災情報の利活用	気象庁 札幌管区気象台 気象防災部 地震情報官 阿南恒明
第5講	13:00 ↓ 14:30	地震防災対策	北海道大学大学院工学研究院 建築都市空間デザイン部門 准教授 中嶋唯貴
●閉講式	14:45 ↓ 16:00	振り返りクイズ・ 質問への回答・修了式	

## ●受講申込みについて

定員：50名（事前予約制・先着順。定員に達し次第しめきり致します） 受講料：無料

申し込み期間：2023年11月1日（水）～11月20日（月）

申し込み方法：受講申込書（コピー可）に必要事項をご記入の上、

Eメール・FAX・電話または郵送にてお申し込みください。

なお、受講票は発行いたしませんので、当日直接会場へお越しください。

※皆さまの個人情報につきましては、当初の目的範囲内でのみ利用させていただきます。

ご自身の個人情報についての開示・確認・訂正・削除等をご希望の場合も、当センターまでご連絡ください。

## ●受講申込書

ふりがな

氏名

年齢

歳

性別  男性

女性

電話番号

FAX

電話と同番号

Eメール

@

### ◎受講希望の講義

（にチェックを入れてください）

12月2日（土）

1講目 巨大津波に備える

2講目 歴史資料から巨大地震災害を  
どう学び、どう残すか

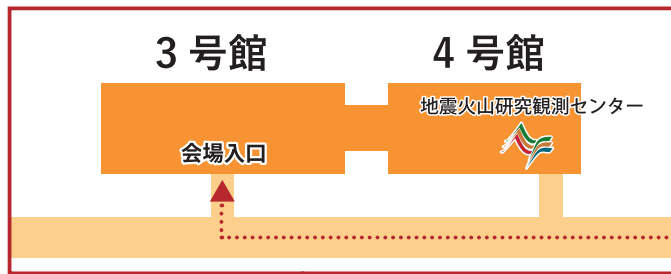
3講目 北海道周辺に発生する地震

12月9日（土）

4講目 地震防災情報の利活用

5講目 地震防災対策

会場：北海道大学理学部 3号館 309 講義室



**【交通機関について】**

・大学構内への自家用車の乗り入れをご遠慮いただいております。受講時には公共交通機関等をご利用ください。

**【休憩時の飲食について】**

- ・休憩時には、引き続きお席を昼食・休憩にご利用いただけます。
- ・当日、中央食堂は営業していません。ご持参いただくか、構内コンビニエンスストアをご利用ください。

**申し込み・問い合わせ**

北海道大学地震火山研究観測センター 地域防災情報支援室  
電話 011-706-3591 (受付時間：平日 10:00 ~ 16:30) FAX 011-706-2899  
Eメール [isv-web@ml.hokudai.ac.jp](mailto:isv-web@ml.hokudai.ac.jp)  
ホームページ <http://sci.hokudai.ac.jp/isv/>